

# 2013年度 早稲田大学 教育学部

## 日本史 解答例

### I 日本最古の漢詩集 <やや難>

問1 懐風 問2 長屋王 問3 オ 問4 エ

問5 イ 問6 ア 問7 ウ 問8 エ

問3 『懐風藻』の編纂者は淡海三船や石上宅嗣と言われているが、選択肢にないためオを選ぶ。撰者が不詳という説もある。問5 空欄D・Eが悩ましいが、Fが確定できれば解答は一つに絞り込める。

### II 院政 <やや難>

問1 エ 問2 ア 問3 オ 問4 ウ 問5 イ

問6 エ 問7 ウ 問8 重任 問9 一國平均役

問3 設問文の「院政を行った上皇」という条件を厳密に考えると、解答が絞り込める。六勝寺を作った人物がそれぞれ誰であるかを、要領良く覚えていただろうか。早稲田予備校では、通年授業では扱っていないものの、夏期講習の文化史講座の中で覚え方も含めて紹介していた。問7 は史料にわずかなヒントがあるが、問8 は「成功」と迷っただろう。

### III 中世から現代の沖縄史 <やや易>

問1 按司 問2 首里 問3 イ・カ 問4 オ

問5 ウ 問6 エ 問7 ウ 問8 ア

早稲田では定番の沖縄史の問題。問4 選択肢を比較して解答を絞り込む。問7 難問。

### IV 明治時代の政治・文化 <やや易>

問1 田口卯吉 問2 帝国大学 問3 ウ

問4 イ 問5 イ・ウ 問6 エ 問7 オ

## V 18世紀後半から20世紀の日本の対外関係史 <やや易>

問1長崎 問2無条件 問3オ 問4ア

問5ウ 問6オ 問7イ 問8エ

問2 難問と捉えてもかまわないが、早稲田予備校の直前講習のテキストに、同じ空欄問題を入れておいた。1995年の慶應義塾大法学部の問題である。時々古い過去問を否定する人がいるが、役に立つことも非常に多い。

### 講評

落とし穴があちこちに潜んでいる、早稲田らしい問題であった。これらの問題を難しいと感じた受験生は多いだろうが、まったく解けない問題ではない。推測力を働かせてダミーの選択肢を消去していくと、解答が絞り込めるものも多いのである。本当の出題データを持っていないと憶測で傾向を語りがちなので、正しい情報に沿った学習をして、高得点を目指したい。